

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.12.02

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂来歴表

| No. | 年 月 日 | 内 容 |
|-----|--------------|------|
| - | 2021年 9月 10日 | 新規制定 |
| | | |

はじめに

ApresiaLightFM シリーズ 1.12.02 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

リリースバージョン

| | |
|-------------|---------|
| 今回リリースバージョン | 1.12.02 |
| 前回リリースバージョン | 1.12.01 |

適応機種一覧

| シリーズ名称 | 製品名称 |
|---------------------|-------------------------|
| ApresiaLightFM シリーズ | ApresiaLightFM124GT-SS |
| | ApresiaLightFM108GT-SS |
| | ApresiaLightFM116GT-SS |
| | ApresiaLightFM108GT-PoE |
| | ApresiaLightFM116GT-PoE |
| | ApresiaLightFM104GT-PoE |

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

| 製品名称 | 対応バージョン |
|----------------------------------------------------|-------------------------------|
| ApresiaLightFM124GT-SS | ApresiaLightFM Ver. 1.00.00 ~ |
| ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS | ApresiaLightFM Ver. 1.01.01 ~ |
| ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE | ApresiaLightFM Ver. 1.03.00 ~ |
| ApresiaLightFM104GT-PoE | ApresiaLightFM Ver. 1.09.00 ~ |

輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLFM Ver. 1.12.02 リリース情報(2021年9月)

機能修正について

本ソフトウェアは、Ver.1.12.01 から以下の機能修正を実施しております。

仕様変更

APLFM-11202-RC001

内容 SSH で使用される鍵交換アルゴリズムで、現行方式に加えて Ver.1.12.00 以前に実装していた鍵交換アルゴリズムを追加でサポートしました。SSH クライアントの一部では、SSH セキュリティーの強化に伴い Ver.1.12.00 以降で動作する ApresiaLightFM シリーズ製品に対して SSH 接続ができないケースがありましたが、この変更に伴って一部のレガシー SSH クライアントからも SSH 接続ができるようになります。

関連 -

修正

APLFM-11202-RC002

内容 disable clipaging コマンドで自動ページ送り機能を有効にした場合に、traceroute コマンドを実行すると自動ページ送り機能が無効になる問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11202-RC003

内容 WEB インターフェースにおいて、Static ARP のエントリーの編集が正常に行えない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11202-RC004

内容 Ver.1.12.00 以降のファームウェアで、ダウンロードできる SSL 証明書のファイルサイズが、証明書ファイルで最大 2048 バイト、秘密鍵ファイルで最大 1024 バイトに制限されている問題を修正しました。なお、Ver.1.09.00 以前のファームウェアでの同様のサイズ制限は仕様です。

関連 -

APLFM-11202-RC005

内容 LLDP 機能において、装置から送信する LLDP フレームが不適切である問題を修正しました。本事象は、Ver.1.12.00 以降のみ発生します。

関連 -

APLFM-11202-RC006

内容 LLDP 機能において、Port and Protocol VLAN ID の値が 0 である LLDP フレームを破棄する問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11202-RC007

内容 SSH での装置へのアクセスを実施した際の一部でメモリー開放漏れがある問題を修正しました。本事象は、検証環境では特定条件での SSH のアクセスが数万回を超えて行われた場合に顕在化し、例外処理による再起動が発生することが確認されています。

関連 -

APLFM-11202-RC008

内容 STP 機能において、RSTP で構成されたトポロジが不安定になる問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11202-RC009

内容 STP 関連の SNMPv1 トラップの送信フレームが不適切である問題を修正しました。本事象は、Ver.1.08.00 以降のみ発生します。

関連 -

APLFM-11202-RC010

内容 ACL 機能において、DHCP サーバーからの応答パケットに対する DENY のアクションを実行できない問題を修正しました。本事象は、Ver.1.11.00 以降のみ発生します。

関連 -

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッディングをしないことがあります。(その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます)

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウン
します。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

ApresiaLightFM シリーズ Ver.1.12.02 リリースノート

Copyright(c) 2021 APRESIA Systems, Ltd.

2021年9月初版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目3番4号
築地第一長岡ビル

<https://www.apresiasystems.co.jp/>